

北海道・東北

関東

北信越

東海

近畿

中国

四国

九州・沖縄



ドラフト関連度
総合
A

投手	野手
A	B

直近の甲子園出場校
14年夏 東海大相模
15年春 出場なし

神奈川県

7月11日〜28日(横浜スタジアムほか)

吉田&小笠原擁す東海大相模が連覇狙う
ライバル校が強力打撃陣で立ち向かう!

投手編

東海大相模は二枚看板が盤石

昨夏甲子園を経験した東海大相模の吉田凌と小笠原慎之介。常時140キロを超す左右の両輪が、今年の神奈川県をリードする。

吉田の代名詞はタテのスライダーだが、昨秋以降研究されて、各チームとも手を出さなくなってきた。そこで吉田は鋭いカーブを習得。「カーブを見せれば、相手もスライダーを振ってくるようになる」と、春の県大会で新しいスタイルに手応えを感じていた。コーズギリギリを狙い過ぎなければ、楽に勝ち試合を作れるだろう。小笠原は左で140キロが出て、なおかつ制球力があるのが強み。



吉田凌(東海大相模)

注目投手

投球ができずに春を終えた。フィールディングも含めた修正を図り、最後の夏に挑む。

2年生では高田孝一(平塚学園)と中川颯(桐光学園)が実績十分。高田は昨秋優勝の原動力で、OBの熊谷拓也(法政大)に似た大型右腕。カーブを上手に織り交ぜ、堂々とした投球を見せる。中川は渡辺俊介(元口ッテ)を手本に、アンダーハンドの技を磨いてきた。地面ストレスからシンカーに強弱をつけて、打者を翻弄する。1年の春から投げている津留崎大成(慶應義塾)はダーツのような投球フォームに改造して、制球力を取り戻した。仲島大雅(法政二)は強気の勝負を好む速球派。齋藤航汰(相洋)は三振が取れる

神奈川県の主な注目選手

守備	名前	所属	学年	身長	体重	投打	評価	コメント
投手	田村 海人	桐蔭学園	3	182	70	右右	C+	全身連動の柔らかさを武器に、安定して結果を残せるようになってきた
投手	小笠原慎之介	東海大相模	3	182	83	左左	A	速い球をコースに投げ分け、ピンチを切り抜ける。救援での落ち着き◎
投手	吉田 凌	東海大相模	3	181	73	右右	A	不調でも2ヶタ奪三振は当然。タテスラに加えカーブにも磨きかかる
投手	中川 颯	桐光学園	2	180	68	右左	C	品のあるサブマリン。前にヒザを送る技術はあるので、スタミナ強化を
投手	高田 孝一	平塚学園	2	182	74	右右	B	カーブを上手に織り交ぜながら、強気の直球勝負で、昨秋県優勝投手に
投手	望月 惇志	横浜創学館	3	188	78	右右	C+	140キロ超とスプリットで注目の大型右腕も、秋、春と不本意な結果に
投手	山口 直也	横浜準人	3	184	70	右左	C+	ストレートの威力、打撃センス、塁間を走る姿、すべてに伸びしろあり
捕手	下地 滉太	日大藤沢	3	182	77	右右	B	OB川邊健司(ヤマハ)に似た強肩捕手。野球頭脳、人柄ともに高評価
遊撃手	杉崎 成輝	東海大相模	3	172	68	右左	C+	サイズ以上に打球は強烈。地面を踏みしめる姿からも強打のオーラ漂う
外野手	大川弘太郎	慶應義塾	3	170	65	右右	C+	50メートル5秒8の脚力ながら、右打席で振り切る姿勢に可能性を感じる